

第16回定期地本委員会を開催!

職場の闘いを通じて、更なる組織拡大を実現しよう! 労働者魂を発揮して、働く者の連帯を広範につくりだそう!

2月20日、JR東海労新幹線関西地本は、吹田市民会館において第16回定期地本委員会を開催しました。委員会は康乗副委員長の司会ではじまり、議長に浦谷委員（大阪第二運輸所分会）を選出し、議事が進められました。

小林委員長は、主催者を代表して「①松崎明さんが昨年12月9日に亡くなりました。松崎さんは何を考え何を目指していたのか。ひとり一人が松崎さんの闘いに近づけるように奮闘していこう。②東海労に加入された亀山明生さんの「こんな時代だからこそ人間らしく東海労の仲間と共に闘う」という決意に応えていこう。③東京第二運輸所分会・斉藤書記長に対する「酒気帯び」デッチ上げ処分攻撃に、新幹線地本の仲間と共に連帯して闘おう。④職場内外の諸問題に流されることなく、こだわりを持ってしっかりと見つめ、耳を傾け、共に相談し、あきらめずに声を上げ、立ち向かっていこう。」という挨拶を行いました。



来賓として、JR東海労本部の船出副委員長から「①JR春闘で、労働者同士の団結を固めベアゼロを許さず、2011年春闘を全力で闘おう。②乗車券不正使用、大麻事件、うつ病、自殺者など、会社自体が病んでいる。職場から労働者としての闘いをつくり出していこう。」とあいさつを受け、続いて関西地本OB会の中崎会長から「組織拡大で元気を頂いた。現職組合員の血のにじむ闘い、苦闘を我がものとして共に闘って行く。」と連帯の挨拶を受けました。

質疑では16名の委員から発言があり、各部答弁と藤広本部副委員長の感想、湊書記長が総括答弁を行い、2011年春の闘いで、職場の闘いを通じて更なる組織拡大を実現し、働く者の連帯を広範につくりだすために全力で闘うことを満場一致で確認しました。